

みさほさんへ。男って意外に自分がどんなセックスを望んでいるのか知らないものなのかも。

みさほさんの文章にはとても愛情が溢れていて、優しい文体で、それだけで癒されてしまう人がいるんだろうなあ、と思います。

もちろん僕もその一人。

やっぱり文章にはその人が現れてしまいますね。

みさほさんがおっしゃるように男の子は感情を抑えるのが得意。

子どもの頃から泣いちゃダメと言われて、ガマンすることを覚えて来たから。

だから、それが愛情表現になる人も少なくないんですよ。

ガマンして好きでもない仕事しに会社に行くことが、愛。

なかなか理解しにくいかもしれないけれど。

僕も十三のSMクラブの女王様がクライアントさんだったから、その社長さんみたいな話はよく聞いていました。

その方のお客さんは社長さんだけでなく、芸能人、プロ野球選手、医者、弁護士など社会的地位がある人ばかりだったそうです。

バランスを取るんですよ、そうして。

ちなみにその女王様。

いつも彼氏はお客さんなので「どこに行っても私Sばかり！たまにはMの気分も味わいたい！」と思って僕のところに来てくれたそうです。

え？なんで？と思いましたけど(笑)

<!--more-->

*

『廃用性萎縮』って言葉は老人向けのものだと思っていました(笑)

確かに使わなければ膣も萎縮しちゃいますよね。

10年ぶりに彼氏ができてセックスしたクライアントさんが「処女の時より痛かった。ヤバかった」って話してくれたことがあります。

「だから、ふだんからの準備が大切なんですよ～」ってオナニーの大切さも実感できたみたいです。

女性は「受け入れる」立場だから、痛いつてなりやすいんですよ。

異物を受け入れるわけですから、そりゃあ、怖いものでしょう。

だから、男性はそういうのをきちんと知ってあげることが大事です。

最近は優しい男性が増えて来たから大丈夫みたいだけど、それでも一方的にねじ込んで自分だけイッて終わりって男性の話も時々耳にします。

セックスしてみさほさんもいつもおっしゃってますが、心の問題ですよ。

心が開いていなければ、体も固いままで開きません。

心がつながって、そして、体がつながる、という順番を過つと、女性も満足できないし、男性も性の処理目的でしかセックスを捉えられなくなってしまいます。

コミュニケーション。大事です。ほんとうに。

男性もセックスに自信がない人が多いから、女性が痛いとか気持ちいいとか言ってくれると安心するんですね。

ガマンしてやっても、たぶん、男性は気付かないです。

そして、一緒に創っていくものになるといいですね。

でも、男性は言葉が苦手な人も多いのが事実。

そして、プライドの高い男性は、女性が痛いという声を発すると、自分のセックスを否定されたように感じて傷ついてしまいます。

全然そんなことではないのに、別の問題なのね。

だからこそ、言葉が大事ですね。

男性は肉体が優位だけど、女性は言葉が優位。

だから、言葉(コミュニケーション)については女性がリードしてあげないと、彼は付いて来れないのです。

そこは勇気を出して、ちゃんと気持ちを表現してほしいところです。

そして、男性はそれを自分の思い込みで一方的に判断せずに、きちんと耳を傾けてほしいな、と思うのです。

*

途中で勃たなくなる男性へのアドバイス、ありがとうございます。

詳しく教えて下さってうれしいです。

早速パクらせていただきます！（笑）

オナニーのし過ぎやハードワーカーのレス問題はよくご相談頂くので知っていましたが、糖尿病、タバコは意外でした。

そういうケースもあるんですね。勉強になりました。

男性って意外と自分がしたいセックスを知らないことも多いと思います。

女性を喜ばせたいって思いの人は特に。

どうすれば女性が気持ちいいかを研究することは好きだし、女性にあんなこともこんなこともしたいって思ってるけど、でも、じゃあ、自分がしたいセックスって何？って聞かれると、「うーん、意外とノーマルかも」みたいな適当な答えが返ってくるのかも。

あるクライアントさんが旦那さんに「今日は私が全部リードするからあなたはマグロになってて！」とやってみたそうです。

そしたら、意外と旦那がコーフンして、「こういうの、初めて」と恥ずかしそうにしていたそうです。

ごつい体の旦那さんが（元々ラグビーをやっていたので180cm、110kgくらいある）そんな態度を取ったので、かわいくて仕方がなくなったそうです。

そして、彼女も「もしかしたら私、Sかも。目覚めちゃったかも」と（笑）

元々レスで悩んでて、おっきな体の旦那のこを受け入れられなかったのに人は変わるものです。

それから、こんなケースもあったんです。

旦那さんが風俗通いをしていることがお財布の中のポイントカードから分かって問い詰めたら、モゴモゴはっきり理由を言わないんです。

夫婦でのセックスはちゃんとあったから奥さんとしてはショックだし、理解できなかったんですよ。

それで、何だかんだ話をしていたら「風俗だと舐めてくれるから」と旦那が。

昔、彼女が何かの理由でフェラを拒否したことがあって、それが彼にとってはショックだったみたいです。

彼女は元々フェラが得意ではないし、正直好きとは言えなかったのも、彼のその言葉はまた新たな衝撃でした。

だから、彼がどんなセックスをしたいのかを一緒に考えてみるのも大切なことですよ。

そういえば、Fテク講座もやってらっしゃるみさほさん。そういう女性はとても多いと思うのだけど、どんなことをお伝えしているの？

*

性教育の話。

大事なことだと思います。

うちも娘が思春期になった頃にそういう話を学校で聴いて、うちでも本を何冊か買って読み聞かせみたいな感じで、奥さんが積極的に伝えてくれました。

私の友人のカウンセラーも性教育を広げようと頑張ってるので応援したいですね。

正しい知識を子どもたちに伝えるってことも大切だと思うけれど、セックスの素晴らしさや喜びについてもぜひ語ってあげてほしいな、と思います。

性教育に限らず、大人たちは子どもたちの目標になるものです。

もっと言えば、子どもたちにとってお父さん、お母さんは大人の代表で、「大きくなったらこうなるんだ」という基準になるものです。

大人たちが仕事に追われて疲れている姿を見ていたら、子どもたちはそんな世界に行きたくないと思ってしまいますね。

だから、今の時代はかっこうピーターパンシンドロームが増えてるんじゃないかと思っています。

「子どもにどんな大人に育ててほしいですか？」ってお母さん、お父さん方に質問します。

そして、色々考えてもらったら、「それがあなたが今、子どもたちに見せてあげる生き方なんですよ」とドキッとすることを伝えます(笑)

「好きなことをやって自由に生きてほしい」と子に願う親は多いけれど、じゃあ、それを誰が教えるの？誰が見本になるの？と言われたら、親自身ですよ。

だから、親が好きなことをやって自由に生きていなきゃ、子どもたちはそこを目指せないわけです。

*

セクシャリティと子どもの頃の心の関係。

とても緊密なつながりがあると思います。

家族でテレビを見ていてラブシーンが映るとパッと画面が変わってしまう家で育つと、そうしたセクシャルなものはダメなこと、隠すべきものという意識を持つようになりますね。

でも、逆に家が厳しすぎると、子どもの意識が性に向くこともあります。

風俗とか援交をやっている子に、親が学校の先生だとか、固い職業の人がよく見られるのもその反動なのかも。

性って親から隠せるものなので(隠さなきゃいけないものなので)、厳しい親の監視をかいくぐるにはちょうどいい隠れ蓑になるんです。

要するに親への反抗として性を使ってしまうような感じです。

親から性について知識や思いが伝えられていないと、子どもは自分でそれを開拓していくことになります。

それは他の同級生からの情報だったりもするけれど、多くはネットから。

そして、それがセックスなんだと思い込むようになっていきます。

日本のアダルトビデオは恋人同士が仲睦まじくデートをして、たくさんおしゃべりをしてベッドインするってシーンはあまりないから(あっても飛ばされるから)、いきなりセックスに突入するシーンがとても多いんですね。

そうすると、子どもたち(といっても思春期の子どもですけど)は、それを正しいとして思い込むようになりますね。

やっぱり親の言葉から、セックスやセクシャリティの大切さとリスクを伝えてあげるのが理想かな、と思います。

学校任せにするんじゃなくてね。

*

みさほさんと同じく、セックスって「愛し合う」ものだから、まずは自分を「愛する」ということがとても大切なことだと思うんです。

それは体だけでなく、心もちゃんと愛してあげる、ということが。

私、をちゃんと主人公にしてあげる自分軸の生き方はセックスにおいてもほんと大切なものですよ。

そして、その自分を愛することができて、相手を愛することができて、相手の愛を受け入れることができて、という順番だと思うんです。

みさほさんは自分を愛するためにしていることや心がけていることはありますか？

また、お返事お待ちしております。